

2023年12月10日

課題名：気管支喘息増悪、COPD 増悪患者におけるウイルス感染の関与の検討

◆研究の目的と概要◆

当院では、喘息増悪あるいは COPD（慢性閉塞性肺疾患）増悪で入院された患者さんの起炎病原微生物について、特にウイルス感染の関与について調べています。本研究では、喘息増悪あるいは COPD 増悪で入院された患者さんにおいて適切な治療や予防につなげるため、今後よりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

承認日から、2028年12月までの間に、喘息増悪あるいは COPD 増悪と診断され当院呼吸器内科に入院された15歳以上の方。

◆研究に使用される試料・情報◆

- ・年齢、性別、喫煙歴、基礎疾患、ワクチン接種歴(肺炎球菌、インフルエンザ、新型コロナウイルス)、1週間以内の同様の症状の人との接触歴の有無と接触有りの場合患者との関係(家族、職場の同僚など)
- ・バイタルサイン(意識レベル、体温、脈拍、血圧、呼吸数、酸素飽和度)
- ・症状(発熱、咳嗽、喀痰、呼吸困難、頭痛、腹痛、下痢、関節痛、筋肉痛、意識障害など)
- ・血液検査所見(ヘモグロビン、白血球数、白血球分画、血小板数、総タンパク、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、LDH、BUN、Cr、Na、CRP、PCT)
- ・入院前後の治療内容
- ・30日死亡、院内死亡、ICU入室、人工呼吸管理(IPPV、NPPV)、退院場所、90日以内の再入院
- ・起炎病原微生物

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2024年1月1日以降

◆研究方法◆

喘息増悪あるいは COPD 増悪の診断にて当院呼吸器内科に入院された患者さんを対象として、起炎病原微生物の検索としてウイルス感染の関与の評価目的に鼻咽頭ぬぐい液での呼吸器病原体マルチスクリーニング検査(FilmArray 呼吸器パネル 2.1 (Multiplex-Nested PCR 法))を行います。本研究の情報は、患者さんの診療録の情報を利用して調査します。

- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
- * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

呼吸器内科 研究責任者 伊藤 明広

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp (臨床研究センター)

(★を@に変換して使用してください)

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難である等の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明